

事業所名

スマートキッズプラス芝公園

## 支援プログラム

作成日

2025年

1月

31日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>			
営業時間		13時30分から	18時0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 利用者を主体とした自身で取り組むトイレトレーニングの課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動	
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等)	
	認知・行動	時計や数量についての理解に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等)	
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等)	
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)	
家族支援		家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組む、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。		移行支援	将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。 日常的な連携に加え、利用者に対して就学に向けてできる支援について共有を図る。
地域支援・地域連携		将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。 日常的な連携に加え、利用者に対して就学に向けてできる支援について共有を図る。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、大雪、防犯)、課外活動(昼食購入、外食体験、科学館・博物館見学等)、調理活動(フルーツポンチ作り、サンドイッチ作り等)、保護者会			